

木村肇さんが第31回ダム建設功績者表彰を受賞

元国府町長の木村肇さんが第31回ダム建設功績者表彰を受賞され、平成23年11月29日(火)に東京都内で行われた式典にて表彰されました。

この賞は、ダム建設事業促進に長年にわたり協力された方や団体に送られる賞で、今回は全国から28名2団体が受賞されました。関係者約330人が集まった式典では木村さんが代表として謝辞を述べられました。

式典の写真と賞状を見つめながら木村さんは下記のように語られました。

「この賞は私個人が受けたのではなく、地権者や当時の役場職員、町議会など関係者の皆さんの代表としていただいた賞だと思っています。

振り返れば、ダム建設の予備調査が始まったのが昭和37年。私がダム建設推進を旗印に町長選に出馬し、当選したのが昭和62年。当時はダム建設反対同盟による

反対が根強く、推進できずにおりましたが、1年後に殿ダム建設対策同盟会に切り替えていただくことができ、それから殿ダム建設が前進するようになりました。

そして、昨年11月27日(日)に殿ダムの完成式が行われ、その2日後に今回の賞を受賞することができ感慨無量です。

しかしながら殿ダム周辺地域の皆さんにとっては、今からが地域づくりのスタートだと思いますので、今後も殿ダムに目を向けながら、尽力していきたいと思っています。」



表彰状を持つ木村肇氏

殿ダム水源地域ビジョン連絡会議の設立

殿ダム周辺地域の利活用施策をまとめた『殿ダム水源地域ビジョン』を推進するため、地域住民、各種団体、関係行政機関等が一体となり、相互の連携・協力の下、地域の自立的、持続的な活性化に寄与することを目的として、平成24年3月15日(木)に『殿ダム水源地域ビジョン連絡会議』が設立されました。

会議では、殿ダム周辺の広場整備の具体的な内容について、事務局である鳥取市より説明があり、広場の利活用に関して、様々な意見が出されました。

今後、定期的に会議が開催され、関係者間の相互の連絡・調整、ビジョンの継続的な実施状況の確認、必要に応じて施策の見直しを行う等、ビジョン推進のため、継続的に議論していきます。



『とのまる通信』の発行終了のお知らせ

ダム建設事業に関する情報をお伝えしてきた『とのまる通信』ですが、ダムが完成し、建設から管理に移行するため、殿ダム工事事務所として『とのまる通信』を発行するのは今回で最後となりました。

長年ご愛読いただき、ありがとうございました。



『とのまる通信』のバックナンバーは、ホームページや殿ダム管理支所で見ることができます。

殿ダムはJR鳥取駅から車で約25分(約14km)。自然に囲まれた場所です。一度見に来てください!



お問い合わせ & 便りのあて先
 国土交通省 中国地方整備局
殿ダム工事事務所 (殿ダム管理庁舎)
 とのまる通信編集部
 〒680-0222 鳥取県鳥取市国府町殿 206-4
 TEL)0857-58-0581 FAX)0857-58-0582
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

殿ダムの管理は、平成24年4月より鳥取河川国道事務所 殿ダム管理支所が行います。



『とのまる通信』



もうすぐ春 殿ダムへ行こう!

吹く風も暖くなり、春を感じる季節になりました！
 そろそろ厚いコートを脱ぎ、自然に囲まれた殿ダムの湖『因幡万葉湖』周辺を歩いてみてはいかがでしょう。
 「え！もうダムには行けるの？」
 「どこから入るの?」「ダム周辺に何か楽しめる場所はある?」
 など、疑問をお持ちの方も多いのでは…
 そこで、今回は、殿ダムの今の情報をお伝えします。
 皆さんお気軽に来てください!



Q1 この写真の道路は殿ダムのどこにあるのでしょうか?



A1 殿ダム堤体の一番上、高さ75mにあるダム管理用の道路です。因幡万葉湖やダム下流など、周辺の景色が一望できます。



この赤い線の所に道路があります

Q2 ダムにはいつから行けるようになりますか?

A2 平成24年4月より殿ダムの本格的な管理運用が始まります。ダムには平成24年4月より行くことができ、8:30から17:15までの間、開放する予定です。
 (詳しくは中面の殿ダム周辺地図をご覧ください)



もうすぐ
春

殿ダムへ行こう!

Q3 ダム湖周辺はいつから周遊できるようになりますか?

A3 平成24年4月より通行が可能な道路は、殿ダム周辺地図に示すとおりです。ただし、積雪等により通行が制限される場合があります。

湖を望みながら、殿ダムから殿ダム大橋を一周するコースを歩いてみてはいかがでしょうか! (約4km)



Q4 殿ダムには駐車場がありますか?

A4 管理支所前に普通自動車約10台駐車できます。
(17時15分以降はゲートを閉めます)



Q7 殿ダム周辺へ行って何か楽しめることはありますか?

A7 殿ダム周辺には、そば打ち体験や絵手紙講習が受けられたり、バーベキューハウスや古民家で宿泊できる施設もあります。また、楠城地区には芝生広場もあり、家族でゆっくりくつろげる空間が点在しています。
(詳しくは殿ダム周辺地図をご覧ください)

Q8 殿ダム直下の広場は、いつ頃整備されるのでしょうか?

A8 殿ダム直下や原石山跡地など、平成24年度から平成25年度にかけて、鳥取市において広場が整備される予定です。
(詳しくは、鳥取市都市整備部都市環境課 TEL:0857-20-3252 へお問い合わせください)

殿ダム周辺地図

そば打ち体験もできます!
(事前申し込みが必要)



Q5 殿ダム情報室と展望広場はどうなったのですか?

A5 より多くの方にダム建設事業への理解を深めてもらうため、平成19年度に設置した殿ダム情報室と展望広場は、その役目を終え、平成23年11月に撤去しました。殿ダムに関する情報発信基地は、平成24年4月より、**殿ダム管理支所1階資料室**にその機能を移します。



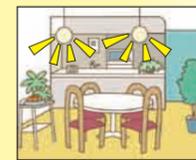
Q6 殿ダムにはトイレの施設はありますか?

A6 管理支所1階にあります。土・日・祝日も利用することができます。



Q9 殿ダムによる発電はいつから開始されるのですか?

A9 平成23年6月30日から袋川発電所(鳥取県企業局)において**発電が開始**されています。
発電能力は最大で1,100キロワットで**一般家庭約1,400戸分**に相当します。



豆知識

昔も今も鳥取市に電力を送る国府町

明治40年4月に境・鳥取間の山陰線が開通し、これを祝って5月17日にときの皇太子(後の大正天皇)が山陰行啓され、仁風閣に宿泊されました。その時初めて点灯され、人々は驚嘆したそうです。この点灯の動力は国府町荒舟発電所からの水力発電によるものでした。
現在、殿ダムも水力発電を行っており、国府町が昔も今も市内の人々の豊かな暮らしの一助となっていることが伺えます。



バーベキューハウスや芝生広場があります。
(バーベキューハウスの利用は事前申し込みが必要)



殿ダム周辺は、山に囲まれ空気が良く静かなので、ウォーキングやサイクリングをするのに最高ですよ!

各種会合や宿泊もできる古民家の施設があります。
(事前申し込みが必要)



資料室
殿ダムのジオラマやパネル、殿ダム事業の概要が分かるスライド映像などを準備しています。



福田典高氏による絵手紙講習も受けられます。
(事前申し込みが必要)

